

令和8年度 学校経営の方針

1 教育方針

- (1) 「この子らは世の光なり」を心として、子ども一人一人の尊厳性を重んじ、愛情に満ちた教育を推進する。
- (2) 心身ともに安全で安心な環境のもと、子ども達の生き生きとした生活をつくとともに、共に生きがいのある教育を推進する。
- (3) 教職員相互の信頼と協力を基盤に、家庭や地域に開かれた、魅力ある学校づくりを推進する。

2 教育目標

拓く

～学校を開く、実践を拓く、子どもの可能性をひらく～

3 目指す児童生徒像

- 明るく元気な子 ー 体を鍛え、心豊かに笑顔で生活する児童生徒
- 仲良く助け合う子 ー 思いやりをもって関わり、共に学び、認め合う児童生徒
- 喜んで働く子 ー 自らの成長と貢献する喜びを感じ、進んで働く児童生徒

4 目指す教師像

- 子どもの尊厳性を重んじ、守り、支え、育もうと努める教師
- 子どもの可能性を信じ、穏やかに、ゆるやかに、確実な指導を行う教師
- 互いを尊重して高め合い、協働する教師

5 本年度の重点

児童生徒及び教職員、保護者など、関わる全ての人の「Well-being」の実現を目指す

- (1) 「生きる力」を育てる教育課程及び授業の実施を支える持続可能な仕組みの改善
 - ・「標準年間指導計画」の改善と12年間を見通した教育課程の編成と実施
 - ～「資質・能力」を確実に育む見方・考え方を働かせた各教科における「主体的・対話的で深い学びの実装」及び道徳、特別活動、自立活動等の充実
 - ・本校作成の各教育計画の活用による指導と評価の一体化と学びの履歴を踏まえた児童生徒一人一人の資質・能力の確かな育成及び「持続可能な平易な仕組み」の改善
 - ・主体的な参加と学びを促す効果的な指導方法「能代スタンダード」の充実と実践の推進
 - ・子どもが、自ら目標をもって主体的に学び、成長を実感できる学習過程の改善・充実
 - ・リモートを含む、個に応じた指導形態の工夫により、すべての児童生徒の学びを保証
 - ・日々の授業におけるICT機器及びAIの効果的な活用と家庭での活用の推進
- (2) 心身の健康の保持増進と道徳性及び自己調整力・自己教育力の育成
 - ・「心理的安全性」の確保と「規律ある学校生活」の堅持による、誰もが安全に安心して生き生きと学べる学校・学級づくりの充実と児童生徒主体の課題解決の推進
 - ・基本的な生活習慣の確立及び食事、運動を通じた心身の健康と情緒の安定を図る実践の充実
 - ・自己理解を深め、適切に支援を求めながら自らの課題を主体的に解決する自立活動の充実
 - ・礼儀や挨拶、思いやりの心、規範意識、清掃・衛生習慣等を育てる学級指導
- (3) 地域と連携し、地域に貢献する教育活動の推進
 - ・コミュニティ・スクールの導入を念頭においた新たな地域との連携体制の構築
 - ・校内外の資源を活用した質の高い学習の創造と貢献する喜びを実感できる実践の充実
 - ・居住地校交流をはじめとした交流及び共同学習の充実
 - ・地域貢献活動を通じたキャリア教育の推進
 - ・特別支援学級の実践充実につながる情報提供とSNS等による積極的な情報発信